

# 第32回日本乳癌学会学術総会

社会への還元を目指した叡智の集結

Shaping the world ahead



モーニングセミナー4 MS4

## がん患者のアピアランス支援

日時

2024年7月12日(金) 7:50～8:40

会場

仙台国際センター 第8会場 (展示棟 1F 会議室4)

座長

大分大学医学部長

大分大学医学部

消化器・小児外科学講座 教授

猪股 雅史 先生

演者

最適な抗がん剤脱毛治療を目指して

～酸化ストレス制御による脱毛治療開発～

大分大学医学部

先端がん毛髪医療開発講座[アデランス]

准教授

河野 洋平 先生





演 者

大分大学医学部  
先端がん毛髪医療開発講座[アデランス]  
准教授

河野 洋平 先生

## ▶ 最適な抗がん剤脱毛治療を目指して ～酸化ストレス制御による脱毛治療開発～

がん治療成績向上に伴い、がん経験者数も増加している。がん患者のサバイバーシップ支援が求められ、治療に伴う脱毛など外見変化に対する医療現場のサポートの重要性はますます高くなっている。大分大学では、抗がん剤脱毛の治療開発研究を中心としたがん患者のアピランス支援に取り組んでおり、抗がん剤脱毛の現状とこれまでの研究成果について報告する。

我々は酸化ストレスが関与する抗がん剤脱毛の病態に対する抗酸化物質 $\alpha$ リポ酸誘導体の効果に注目している。臨床研究では多機関共同研究による乳がん患者100名を対象として、化学療法期間中に $\alpha$ リポ酸誘導体を頭皮に塗布し、脱毛後の回復を促進する結果を示した。リバーストランスレーショナル研究として、抗がん剤脱毛の治療ターゲットとなる病態を明らかにし、 $\alpha$ リポ酸誘導体の効果について頭皮冷却療法との作用の相違点など検討した。シクロfosファミド誘発脱毛モデルにおいて、皮膚冷却および $\alpha$ リポ酸誘導体経皮投与はいずれもシクロfosファミドにより起こる皮膚血管透過性亢進を抑制した。さらに $\alpha$ リポ酸誘導体は血管内皮細胞のアポトーシスを抑制した。研究成果に基づいて開発上市された $\alpha$ リポ酸誘導体配合頭皮用ローションは消化器がん患者における回復期の毛質を改善する効果も示している。

これまでの研究成果により抗酸化物質 $\alpha$ リポ酸誘導体を活用したアピランス支援は、がん患者のQOLを向上する可能性を示している。今後も基礎・臨床研究を継続し、がん治療における外見変化に対するサポートに貢献していきたい。

### 略 歴 等

#### 【略歴】

2001年 3月 大分医科大学医学部卒業  
2001年 5月 大分医科大学外科第一（研修医）  
2007年 5月 大分大学医学部 消化器・小児外科 医員  
2012年 3月 大分大学医学部 博士課程 修了  
2016年 4月 豊後大野市民病院 外科部長  
2017年-2022年 6月 大分大学医学部 消化器・小児外科  
高度救命救急センター 助教  
2018年-2019年 8月 米国Weill Cornell Medicine  
Visiting Fellow

2022年 7月 大分大学医学部  
先端がん毛髪医療開発講座[アデランス] 准教授

#### 【主な学会活動】

日本外科学会 専門医・指導医  
日本消化器外科学会 専門医・指導医  
日本消化器内視鏡学会 専門医  
日本内視鏡外科学会 技術認定医  
日本がん治療認定医機構がん治療認定医

### MEMO

---

---

---

---

# Aderans

